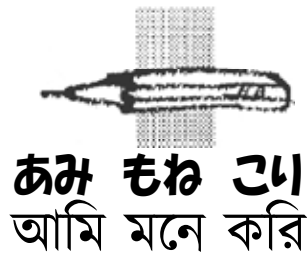


まだまだ少ないときです。三日間の日程のある夜、ソーイングメンバー九人と井戸端会議と称して車座になり、ここで得た収入の使途や子育てについて話し合いました。その時ある女性が「マヌシュ コリ」と言



二五年程前バングラデシュの片田舎、カティラ村の女医マラカール先生の授産所で、友の会が洋裁のトレーニングをした時のことです。今は縫製工場が盛んですが当時は

「マヌシュ コリ（人間する）」

人としての願いは同じなのだ。しかしバングラデシュは進級するにもことごとく試験がありお金が必要、貧しさの可能性を閉ざします。それは個人に留まらず国の未来にもかかわること



いました。それを通訳の方は「子どもを大きくするだけではなく、人間をつくりたい」という意味だと教えていただきました。物は乏しくても志の高さはいかばかりか、国は異なっても

小豆澤千加代 あずきざわ ちかよ
元全国友の会代表/当会理事

す。教育を受けることが不可欠です。エイセフが共働するBDP 寺子屋の生徒五年生八九〇人は、昨秋全国統一試験で、何と百%合格したそうです。勉強できる喜びで意欲満々の子どもたちの笑顔が目に見えがぶようです。入試費用は皆さまのご支援によるものです。可能性を信じ、希望をもって人生を切り開いて行く子どもたちを応援することに国境はありません。一人でも多く教育を受けられるようにこの運動が広がりますように、そして将来この子どもたちが成長するとともに、受けることばかりでなく、与えることにも喜びを感じるようになってほしいと希望します。

「あみもねこり」とは「私は思う」という意味のベンガル語です。

「学校は楽しいよ！」



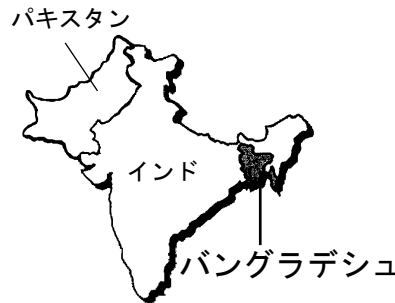
no. 51

1部50円にておわけします。(送料別)

The Asia Christian Education Fund (特活) アジアキリスト教教育基金 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-26 Tel. & FAX. 03-3208-1925 郵便振替 00100-0-185540 口座名 アジアキリスト教教育基金 E-mail: acef@acef.or.jp http://www.acef.or.jp

バングラデシュに寺子屋を贈ろう

祈りと労働をもって



- 第1面
あみもねこり (巻頭言)
小豆澤千加代氏
- 第2面
第27回 ACEF 総会報告
- 第3面
ACEF 理事長挨拶
BDP スタッフ挨拶
- 第4面
BDP ニュース
- 第5面
ACEF セミナー報告
- 第6面
BDP スタッフ紹介
アイリーンさん
- 第7面
あみおぼるてちやい
上野峻一伝道師
- ACEF ユースの動き
- 第8面
サポーターニュース
日本基督教団磐城教会

バングラデシュ北部ボクシガンジ地区には少数民族ガロの人々が住んでいます。BDP 小学校ではガロの子どもたちもベンガルの子どもたちも一緒に学んでいます。

ジャマルプール県
ボクシガンジ
バラジュリ BDP 小学校にて